

とうほくあきんどでざいん塾 『デザイン活用ハンドブック』制作概要

協同組合仙台卸商センター

2012.10.04

1. 制作の目的

仙台市の中小企業が抱えるデザインに対する課題やニーズをふまえ、デザインを活用するための一歩を踏み出せるような情報をまとめた中小企業（商店含む）向けハンドブックを制作する。

先行事例の紹介や、商品・販促物完成にいたるまでのプロセス解説、関連相談窓口の紹介など、中小規模の企業や商店にとって具体的に参考となる情報を網羅した冊子を目指す。

ハンドブックは無料配布とし、広く一般企業や商店主などへデザインの可能性を周知する目的を担うものとする。

2. ターゲットとねらい

仙台市を中心とした東北の中小企業をおもなターゲットとし、現時点で「デザインを何らかの形で事業に生かしたい」という潜在的なニーズを持つ層に向けた内容を発信する。

（デザインについて理解がない企業ではなく、興味はあるがなかなか情報や機会が得られていない層へアプローチする役割を担う）

単なる読み物ではなく、デザインを自社で活用する具体的なイメージを持ってもらえるよう、身近な例を使い、共感を生むような“使える”ハンドブックを制作したい。

3. 形態とイメージ

冊子形式とし、サイズは手に取りやすいハンディなもの（持ち歩きができ配布しやすいもの）。

写真やイラストを多用し、「デザイン」という言葉に気後れしてしまう人にもわかりやすく伝えることを重視する。

4. 掲載コンテンツ案

以下が、とうほくあきんどでざいん塾が2012年10月1日現時点で想定しているコンテンツ案である。（制作発注者決定後、関係者と協議の上、内容が変更になる場合がある）

*掲載順序などは提案自由。

*基本的には全コンテンツを盛り込む方向でのデザイン提案を希望する。

(1) チャート診断

中小企業等がデザインを活用する前段階として、自社の立ち位置を確認するためのもの。自社はそもそもクリエイターと仕事ができる状態にあるのか、それよりも公的な相談窓口の支援が必要な段階なのか等、事業課題のフェーズやデザイン課題をタイプ別に分けるコーナー。

以降、このチャートとハンドブック全体が連動する形を想定している。おすすめしたいコーナーや情報がチャート診断の結果とリンクして提示されていくイメージ。

あわせてチラシやパッケージ、WEBサイトなど「デザインの力を発揮出来るいくつかのケース」とそれと相性のいい業種・業態などの組み合わせを分かりやすく提示する。

*詳細はオリエンテーションにて説明

(2) デザイン準備シート

クリエイターに依頼をする際に、最低限自社で事前に整理すべき問いをまとめたもの。企業側・クリエイター側双方からみた、良い発注の仕方の手引きとなるもの。

*シート制作のために(3)と連動しインタビュー実施予定。

*具体的なシート内容に関しては編集作業の中で協議の上決定。

(3) インタビュー記事

広告代理店座談会とクリエイターインタビューを行い、その様子を掲載。それぞれの立場から、お互いが仕事をする上で何がネックになっているかを探る。

広告代理店座談会は、業界の全体像と現場のエピソードをふまえ、デザイン活用の可能性について意見をいただく予定。デザイン成果物を投下するメディアの解説についてもコラムなどで掲載したい。

クリエイターへのインタビューは「(1) チャート診断」と「(2) デザイン準備シート」を制作する上で、企画・編集するための材料となる役割も担う。特定のクリエイターを取り上げる形ではなく、デザイン実務のこぼれ話としてコラム形式で掲載予定。

また、いわゆる「広告代理店」の役割が一般企業にはわかりづらいことから、アイコンを使用するなどして広告代理店とクリエイターの仕事上での位置関係が分かるようにするなどの工夫も検討している。

(4) 事例紹介

事例紹介は、2~3件を予定。具体的には食品パッケージ、プロダクト(ものづくり)、Webサイトについて各1件ずつのイメージ。(コーディネーターが取材先検討中)

デザインが企業に貢献した優良事例を美しく紹介するのはもちろんのこと、一般的なデザインのプロセス(順序と日数)と、それに関わる人々の役割といったこれまで目に見えなかった完成までのプロセスを“見える化”するのが真のねらい。

企業側の自社努力の重要性和、デザイン活用の総合的メリットを訴求できる内容にする。
*プロセスの“見える化”についての詳細はオリエンテーションにて説明

(5) 用語集

デザイン業界内で通用される専門用語(例:ロゴとフォントの違い、パンくず)等の解説。

(6) 相談窓口一覧

一般企業が利用できる公的な相談機関のおもな活動内容と連絡先の紹介。

(7) クレジット

制作関係者のクレジット。

(8) おまけ

上記コンテンツの他、“おまけ” 付属も検討中。

発注書やパワーポイントのヘッターなど、フォーマットをあきんど塾ウェブサイトからダウンロードできるようにするなどの案があがっているが詳細未定。

…(注) おまけの提案や制作予算については今回のコンペティションには含まない

5. 備考

クリエイターが作る“企業のための”デザイン活用ハンドブックという趣旨を汲み取り、当事業コーディネーターと協議の上、ともにアイデアを出し合って制作を進めていけるパートナーとしての会社・グループを募る。

今回のコンペは、地域で活動するクリエイターの新たな活躍の場を創出する意味合いもあり、広く公募するに至った。実績数に関わらず、自由で意欲的な提案に期待を寄せる。

以上